



ねんりんピック滋賀県代表選手(水泳)

かどさかよしこ
門坂芳子さん(北畑)



全国健康福祉祭(愛称…ねんりんピック)は、スポーツや文化種目の交流大会等、健康や福祉に関するイベントを通じ、高齢者の健康増進、社会参加、生きがいの高揚の場として毎年開催されています。今年10月15日(土)から18日(火)の4日間、長崎県で開催され、滋賀県の代表として日野町から水泳種目で門坂芳子さんが出場されます。

オリンピックをめざして

門坂さんは中学生のときから水泳を始め、中学3年生のときに東京オリンピックを見て「次のオリンピックに私も出場したい」という夢を持ちました。その夢を叶えようと、スカウトされた大阪のスイングスクールへ行くため、大阪の高校へ進学されました。そ

でオリンピックを目指す先輩や同級生、後輩と切磋琢磨し、オリンピックの候補選手に選出されましたが、出場は叶いませんでした。結婚を機に水泳から離れておられました。大谷公園プールが建設されたときに指導者として再び水泳に携り、その後スイングスクールでの指導を続けておられます。

近年は町内小学校で水泳の指導をされています。「現役を引退すれば水泳とは疎遠となると思っていました。今はどこでも誰でも楽しくプールで身体を動かすことができ、良い時代になったと思います」と話されました。

いくつになっても大きな夢を

「水泳やスポーツに関わらず何かひとつ、いつまでも自分の好きなこと、楽しめることをもって続けられることは『生きる力』になっています」と門坂さん。「大会があると目標になります。出場すると緊張感ももちろんありますが、楽しさもあります。また、大会や選手権で違う市町、県外の選手と交流することもできます」と大会を楽しんでおられます。

60歳の時には「日本マスターズ水泳短水路大会」で、60歳区分(60〜64歳の女子50m自由形で世界記録を樹立されました。「オリンピックに出られなかったことで、今度は世界記録というものが新しい夢、目標になりました。いくつになっても大きな夢はもてると思いますし、持つてよかったです」と話されます。

次は70歳区分で世界記録を樹立することを目標にされています。

「もしものときに備えて」

日野町総合防災訓練開催

9月4日(日)、大地震が発生したと想定し、西大路小学校において、日野町総合防災訓練を実施しました。訓練には地域住民や消防団等約400名の方が参加されました。



グラウンドでは被害情報の収集・伝達の訓練や対策本部・避難収容施設の設置、地域住民の避難訓練が行われました。住民の皆さんの避難後は、日野消防署救助隊による負傷者の救出救助訓練や災害時応援協定に基づく関係機関による応急・救助・物資運搬等の訓練が行われました。

体育館の中では、ユースな西大路、西大路ユースクラブ、西大路女性会が前日にダンボールで避難所を作製され、当日はそのスペースを利用して住民の皆さんに、新聞で作れるスリッパの折り方講座を開いておられました。

また、防災士による防災に関する展示、彦根地方気象台による気象に関する展示や実験等も行われ、参加された住民の皆さんは日野消防署の指導のもと、応急手当や心肺蘇生、搬送法等の講習を受けられました。もしものときの備えとして、また、防災意識を高める良い機会となりました。





ひのっこだより



日野町内の幼稚園や小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

日野幼稚園

明治26年の開園から、今年で123年目を迎える日野幼稚園です。今年度は、3歳児40名、4歳児40名、5歳児62名、計142名が在籍しています。平成18年度から預かり保育も行っています。

園のシンボル
くすの木



園教育目標 **心豊かで心身ともにたくましい幼児の育成**

幼稚園でこそ体験できる活動や子ども達が夢中になれる遊びを取り入れながら、「わくわく」「どきどき」「こんなのできた!」を合言葉に心豊かでたくましい子を目指して取り組んでいます。



一年に一度、日野祭曳山囃子方交流会の皆さんに来ていただき、祭り囃子の演奏を聴いたり、太鼓や摺鉦を演奏する体験をさせてもらったりしています。お祭りで見た楽器を手にして“わくわく”している子ども達です。



子ども達は体を動かすのが大好きです。朝には、体操やジョギングをしたり、遊戯室でサーキット遊びをしたり…。ちょっと難しいことにも“どきどき”しながら楽しく取り組みます。



自然物や広告紙など様々な素材との出会いを大切にしています。新聞紙で作ったドレス、傘、リボン、一人一人の表現を大切に、“こんなのできた!”の気持ちを大切にしています。

桜谷幼稚園

通称 さくらだに幼児園

今年度の園児数は、保育所との合同運営により短時間部・長時間部合わせて3歳児16名、4歳児18名、5歳児16名、計50名。町内で園児数が3番目に多い園になりました。

教育目標

**未来をひらく
心豊かでたくましい子どもの育成**

～人・自然・文化との豊かなかかわりを通して～

- ☆ 学びいっぱい(学びのある遊び)
- ☆ 友達いっぱい(仲間づくり)
- ☆ 笑顔いっぱい(体と心づくり)

昨年度から引き続き、桜谷幼稚園は隣接する保育所さくら園と合同運営をし、3・4・5歳児(短時間部・長時間部)が桜谷幼稚園舎で生活をしています。子ども達の人数が増えた分、遊びを生み出す力が豊かになり、友だちの刺激を受けながら生き生きと毎日を送っています。今年度も体づくりに取り組むなかで、友だちと励まし合ったり認め合ったりし、「やってみよう。」「やってみたら楽しい。」と、前向きな気持ちにつなが、集団での育ちを重要視しています。

幼少期からの「歩育」に着目し、園外保育や、朝のジョギング・リズム運動で体づくりをしています。



様々な人と交流しながら、体と心の開放感や温もりを感じる機会を大切にしています。



*町では、居住地によって通園・通学できる幼稚園・小学校を定めていますが、特例により町内のほかの幼稚園・小学校へ通園・通学し、小規模校園の特色を活かした授業を受けることができる「通学区域の柔軟化対応モデル事業」を行っています。詳しくは教育委員会事務局学校教育課または各小学校へお問い合わせください。

問い合わせ先 ◆ 教育委員会事務局 学校教育課 ☎0748-52-6564